

とちぎの道路・交通ビジョン2021の概要

1. 趣旨・概要

- 「とちぎの道路・交通ビジョン2021」は、とちぎ未来創造プランの将来像の実現に向けた「道路・交通分野」の計画として策定
- 自然災害や新型コロナウイルス感染症等への危機対応力の強化、2050年カーボンニュートラルの実現、デジタル技術の積極的な活用等を踏まえ、本ビジョンの将来像「誰もが、いつでも・どこでも、安全・安心・快適に移動できる持続可能な社会」の実現を目指す。
- 国では、都道府県と調整の上、地方ブロック単位で広域道路交通計画策定し、その中で位置付けた広域道路から物流上重要な道路輸送網を「重要物流道路※」として指定する予定

(※平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、国土交通大臣が指定する物流上重要な道路。指定された場合は国による機能強化や重点支援が実施される。)

2. 本ビジョンの構成

- 本ビジョンは、本県における今後の広域的な道路・交通に関する計画の方向性を定める「ビジョン編」と、ビジョン編に基づき具体的な施策を示す「広域道路交通計画編」により構成
- 広域道路交通計画編では、「広域道路ネットワーク計画」、「交通・防災拠点計画」、「ICT交通マネジメント計画」の3つの視点から基本方針を整理

視 点	基本方針
広域道路ネットワーク	「国際拠点や全国とのネットワークの強化」、「持続可能で魅力ある都市・地域づくり」、「国土強靱化」
交通防災拠点	「交通結節点の強化」、「災害対策活動拠点の整備・強化」
ICT交通マネジメント	「デジタル技術の活用推進」、「公共交通の利便性向上」

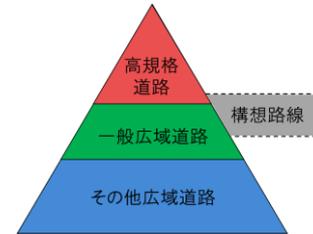
3. 本ビジョン策定のポイント

- 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく道路ネットワークの機能強化対策の推進
- 重要物流道路の追加指定を見据えた広域道路ネットワークを構成等

4. とちぎの広域道路ネットワーク

平常時・災害時を問わない安定的な物流ネットワークの確保や、空港・港湾等へのアクセス強化、国土強靱化などの観点から、県内都市間はもとより全国・海外との連携に必要な広域道路ネットワークについて充実・強化を図る。

- 高規格道路
 - ・高速道路やそれを補完する地域高規格道路などで構成
 - ・我が国の経済活動を支えるとともに、頻発・激甚化、広域化する災害からの復旧・復興を図るため、主要な都市や重要な空港・港湾を連絡する道路
- 一般広域道路
 - ・広域交通の拠点となる都市を効率的かつ効果的に連絡する道路や高規格道路等と重要な空港・港湾等を連絡する道路
- 構想路線
 - ・高規格道路としての役割が期待されるが、ルート・構造について構想段階の道路
- その他広域道路
 - ・高規格道路や一般広域道路と一体的に機能する広域道路



広域道路の階層



21世紀中頃を見据えた
とちぎの広域道路ネットワーク図